

令和7年定例会9月会議一般質問

No. 1		
4 番	佐 藤 弘 議員	備 考
質問事項	質 問 要 旨	
1 農 業 振 興 地 域 見 直 し 後 に つ い て	1) 現在どのようなになっているのか。 2) 今後近い将来、農業を放棄する人が数多く出てくると 思われ、荒れ地になると思われる。地区ごとの農地面積 と荒れ地になると思われる面積を教えてください。 3) 荒れ地になる農地、町として何か考えていることがあ ればお聞かせください。	
2 少 子 高 齢 化 に 対 す る 町 の 施 策 は	1) 人口減少が問題であります。このままではギリ貧で町 がなくなります。焼け石に水的な施策ではどうしよう もありませんが町の施策は。 2) 解決策は若い人に多く住んでもらう以外にはありま せん。隣接する郡山市があり、若い人がいっぱいおりま す。この条件を有効にする施策を考え出すことが一番 町の生き残りであるので、新たな都市計画策定を全町 あげプロジェクトをつくり取組んでもらいたいと思う がいかがか。	

令和 7 年定例会 9 月会議一般質問

No. 2		
1 4 番		遠 藤 亮 子 議員
質問事項	質 問 要 旨	備 考
1 紙おむつとおしりふきの定額利用の実施に向けて	0 歳児から 2 歳児を対象に、紙おむつとおしりふきが使い放題になるサブスクリプション(定額利用)に向けて、保護者にアンケートを行っているという一部の方から伺いましたが、町では実施を前向きにお考えなのか、途中経過をお聞かせください。	
2 ラーケーション制度導入の方向性	ラーケーションとはラーニング(学習)とバケーション(休暇)を組み合わせた造語で、子どもが保護者等と共に学校外での体験や学びを目的として休暇を取得し、楽しみながら学ぶ取り組みです。愛知県発の制度で、学校に登校しなくても欠席扱いにならないのが特徴ですが、町ではこの制度の導入にどのような考えがあるのかお聞かせください。	

令和 7 年定例会 9 月会議一般質問

No. 3		
1 1 番	橋 本 善一郎 議員	
質問事項	質 問 要 旨	備 考
1 スマート農業の推進について	農業従事者の高齢化が進むなか、人手不足が深刻な問題となっています。町においてもスマート農業の推進に力を入れているところだと思いますので、質問させていただきます。 1) 中山間地域等直接支払制度における導入の現状と今後導入に対しての課題について 2) 農業法人・認定農業者等、農業経営者に対する支援策について 3) ドローン講習会等の支援策について	
2 カメムシ防除の薬剤助成について	国においてはカメムシ防除農薬について集落単位または 20ha 以上の農家の支援策が示されています。 1) 中山間地域の多い当町においては、耕作面積が少ないなどの理由から個人支援が必要だと思いますが、町ではどのように対応しますか。	
3 稲作の規模拡大について	米価の高騰を受けて国では増反の方向で政策の転換を図ろうとしています。町では次年度はどのように対応しますか。 1) 休耕田の取扱いと減反政策について 2) 畑地の新規開田は認められるのか	

令和 7 年定例会 9 月会議一般質問

No. 4		
10 番	篠 崎 聡 議員	備 考
質問事項	質 問 要 旨	
1 西部環境センターの運用は	1) 西部環境センターが町単独での運営となり、燃やせるごみが不足気味とも聞きますが、炉内の耐久性に問題はないのでしょうか。 2) 自らの自治体でゴミ焼却設備を維持するが、財政的にも厳しくいくつかの自治体が広域運用しているところがあるようですが、どのくらい町単独で稼働できそうですか。 3) 最終的に、発生した焼却灰はどこで処分されますか。	
2 税金徴収は	1) 三春町は、町税の収納率が他の自治体と比べ高いと聞いておりますが、全国平均と比べどのくらい高いのか。 2) 町の財政が厳しいなか、どのようにして収納率を上げているのか。	

令和 7 年定例会 9 月会議一般質問

No. 5		
2 番	三 瓶 一 壽 議員	
質問事項	質 問 要 旨	備 考
1 三春町第 8 次長期計画におけるコンパクトタウンのあり方について	三春町は今、急激な人口減少など、少子高齢化が顕在化してきております。そして 10 年先の 2035 年予測では人口が 13,900 人（生産年齢人口は 48%）、また税収も減少し、2025 年度の一般会計予算・86 億が、2034 年度には 78.5 億に減少等々が見込まれるなか、現在規模のまちを維持し続けるのは困難と考える。 とすれば、何らかの対策、例えば「三春方式コンパクトタウン」のあり方を検討すべきと考えるがいかがか。	
2 住宅マスタープランと立地適正化計画の策定について	7 月 24 日開催の全員協議会にて、住宅マスタープランリニューアル策定に関する報告のやり取りをしました。 私が「住宅マスタープランは住宅環境そのもののあり方や移住定住促進など、地上の箱ものの議論になりがちである。そこでもっと上位の計画を合わせて行うべき」と質したところ、町長は「当町には土地利用部会があり、議論を尽くしているので、それらに沿って現実的に対応してゆくべきと考える」と答弁されました。 ところがこの土地利用部会（各地区まちづくり協会）により組織されており、各地区の要望等は上げられているが、町全域での合意には必ずしもなっていないし、長期展望での議論が見られない。 そこで今般、顕在化している急激な縮小社会に対応すべく、全町域の土地のあり方も検討するために、立地適正化計画も併せて検討すべきと考えるがいかがか。	

令和 7 年定例会 9 月会議一般質問

No. 6		備 考
1 5 番鈴木 利 一 議員		
質問事項	質 問 要 旨	
1 公共施設について	町には現在使用していない公共施設がありますが、依然として利活用の方向性が見えてきません。利用しなくなった施設をいつまでも維持するのは、非効率なうえに維持経費もかかります。また、地域の活性化のためにも早期に解決を図る必要があります。 1) 旧田村広域組合会館の利活用の見通しは。 2) 来年度以降、小学校の統合が予定されており空校舎ができますが利活用の考え方は。	

令和 7 年定例会 9 月会議一般質問

No. 7		備 考
9 番 三 瓶 文 博 議員		
質問事項	質 問 要 旨	
1 空家対策について	空家等に関する問題については、第一義的には所有者等が自らの責任において的確に対応することが前提であるが、行政においても様々な観点から対策に取り組むことが求められています。 空家等対策計画基本方針から3点について伺います。 1) 空家等にしない・増やさない取り組み 2) 適正管理し、建物の不良化を防ぐ取り組み 3) 財産として管理・利活用の取り組み	
2 ふるさと納税について	1) ふるさと納税の受付は、どのような方法で行っているか 2) 返礼品の人気の順位は	

令和 7 年定例会 9 月会議一般質問

No. 8		
3 番	大 内 広 信 議員	
質問事項	質 問 要 旨	備 考
1 町民体育館 整備 オール ラウンドの体 育館を目指し て	当町に災害が起きた場合、体育館が避難所として利用されます。災害時の備えとして、空調設備の設置が必要と感じます。 また、猛暑の体育館で子どもたちやスポーツ団体が活動することは、熱中症のリスクや、命にかかわる事態を引き起こす可能性があります。 災害に強いまちづくり、安全にスポーツ活動を行うために、2点質問します。 1) 災害時の対応として空調設備の導入 2) 多種多様な競技に対応するための体育館の整備	

令和 7 年定例会 9 月会議一般質問

No. 9		
7 番		小 林 孝 議員
質問事項	質 問 要 旨	備 考
1 後期高齢者 に対する支援 について	物価高が続くなか、特に影響を受けやすい後期高齢者 に対して、町として生活支援や助成制度の拡充を行う考 えはありますか。	